

よくある質問 Q&A

Q 当尾で食事や喫茶できる場所はありますか？

あしび乃店 (あしひのみせ)



地元のお米、国産大豆を使った減塩味噌、昔ながらのお醤油など、安全でおいしい、地産・手作りにこだわっています。広い庭の四季折々の花も堪能してください！

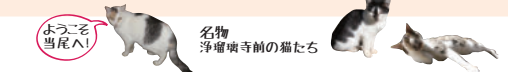
☎0774-76-2791 木津川市加茂町西小札場 56 (団体OK)
http://ashibinomise.life.cococan.jp
【営業時間】10:00~16:30 【定休日】不定休 【駐車場】浄瑠璃寺前駐車場(有料)

塔尾茶屋 (とうのちや)



自家生産のお米と野菜を使った一品や雑穀などがあり、山菜たっぷりのうどんも人気です！ 浄瑠璃寺を拝観したら一休みしてください。

☎0774-76-3530 木津川市加茂町西小札場 72 (団体OK)
【営業時間】10:00~16:00 【定休日】不定休 【駐車場】浄瑠璃寺前駐車場(有料)



Q 「石仏の道」を案内してもらえるガイドさんはいますか？

A 「NPO 法人ふるさと案内・ガモ」にお問合せください。

歴史・石仏・自然の魅力あふれる加茂をご案内します！
[運営協力金] 5名まで1,500円、6名以上1名につき300円。
土・日は、JR 加茂駅改札前で観光案内・コミュニティバス1日フリー乗車券や地場野菜などの販売をしています。

NPO 法人ふるさと案内・ガモ事務局

★木津川市加茂町里中森 101番地
加茂青少年センター内 (9:30~17:00)・祝祭日定休
☎/FAX: 0774-76-9989 http://furusato-kamo.sakura.ne.jp
★JR 加茂駅 観光案内所 (9:00~13:00 / 土日曜日のみ営業 ※変更の場合あり)

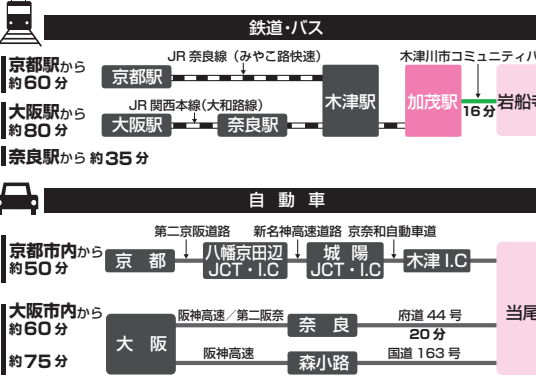
※まちかど観光案内所 加盟店では市内の観光パンフレットを設置しています。

Q 当尾に駐車場はありますか？

A 「岩船寺前」と「浄瑠璃寺前」に民間駐車場があります。

大型バス 1,500円
普通・軽自動車 300円

当尾へのアクセス



A 「浄瑠璃寺前」に散軒あります。

cafe 瑠璃 (カフェり)



店内にクラシック音楽が響く、モダンなカフェ。

ノスタルジックな空間でホッとコーヒータイムを楽しめます。自家焙煎珈琲と手作りのピザのお店です。不定期ですが小規模コンサートを開催中です！

☎0774-66-6568 木津川市加茂町東小上谷/下 10-2
https://m.facebook.com/Cafe-瑠璃-1509183512629011/
【営業時間】9:00~日没まで 【定休日】月・火曜日 【駐車場】有り

Q 当尾でお土産を売る店はありますか？

A 土産物屋と吊り店が散軒あります。

わらじや 土産・吊り店



掘出し物に出会える、浄瑠璃寺前のお土産屋さん。

特産品店やお茶・お菓子・乾物など、信楽たぬきや伊賀の焼き物も数多く並んでいます。浄瑠璃寺参拝の後、ぜひ立ち寄りください。

☎0774-76-4161 木津川市加茂町東小上東谷 30-1
【営業時間】10:00~16:00 【定休日】不定休
【駐車場】浄瑠璃寺前駐車場(有料)

吊り店 / 岩船寺駐車場前

お土産・吊り店 / あしび乃店: 浄瑠璃寺前

吊り店には、四季折々の採れたて野菜や漬け物、お茶、おかしなどが並んでいます。(※不定休)

お土産・吊り店 / ふるさと案内・ガモ: JR 加茂駅観光案内所

吊り店 当尾の里を少くとも折出会う、木や板に吊り下げられた地場野菜や漬け物などを選んで、料金を100円を入れる無人販売の露店。この吊り店を覗くのも、散策の楽しみの一つです。全国にある吊り店の元祖は、ここ「当尾」だといわれています。



京都府木津川市加茂町

当尾

とうの

石仏MAP

石仏に会いに行こう!



わらじ屋 / 木津川市フォトコンテスト / 京都府知事賞「山吹の町」中谷トシ

木津川市加茂町東部の当尾(とう)地区は古来より、南都仏教の影響を色濃く受け、南都の僧侶が修行にうちこむため、都から少し離れたこの地で暮らしたと伝えられています。やがて僧侶の過ごした庵が寺院へと姿を変え、塔頭(たっちゅう:三重塔や石造十三重または五重塔など)が多く建ち並び、尾根に由来し「塔尾(とう)」になったといわれています。浄瑠璃寺や岩船寺周辺には寺院や修行場が点在し、多くの磨崖仏(まがいぶつ)が建立されました。これらは道を行き交う人々を優しく見つめてくれる道しるべとしての石仏達です。石仏は当尾の里一帯にわたっており、散策コースの道中で旬の野菜が並ぶ吊り店など、四季折々の美しい山村の風景が楽しめます。



一般社団法人 木津川市観光協会

〒619-1112 京都府木津川市加茂町兎並東前田 23-1 加茂駅西口出て徒歩2分
TEL: 0774-39-8191 / FAX: 0774-39-8116 (10:00~17:00 水曜定休)
e-mail: kanko@0774.or.jp

木津川市の観光情報は是非御覧下さい! → <http://www.0774.or.jp>

QRコード

カージェア発祥地 手荷物預かり お土産販売

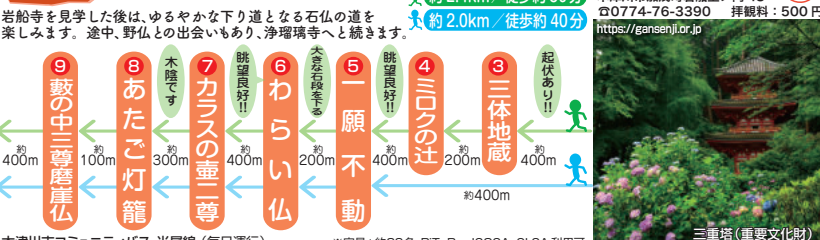
木津川市観光協会 マスコットキャラクター いづみ姫



浄土の池「宝池」を中心にして、東に薬師仏、西に阿彌陀仏を配した庭園は種々世界をこの世に表わしたものです。本堂には平安期の九体阿彌陀如来坐像を横一列に安置しており、当時のまま現存するのはここ浄瑠璃寺だけです。

【国宝】本堂、三重塔、九体阿彌陀如来坐像、四天王立像
【重要文化財】薬師如来坐像、地藏菩薩立像、吉祥天立像、不動明王像、石灯籠二基

おすすめ 石仏の道コース



木津川市コミュニティバス 当尾線 (毎日運行) ※定員: 約30名, PiTaPa・ICOCA・CI-CA 利用可

加茂山の行き		加茂駅東口行き	
加茂駅東口	9:14... (毎時14分) ... 16:14	加茂山の家	9:41... (毎時41分) ... 16:41
岩船寺	9:30... (毎時30分) ... 16:30	浄瑠璃寺前	9:44... (毎時44分) ... 16:44
浄瑠璃寺前	9:36... (毎時36分) ... 16:36	岩船寺	9:51... (毎時51分) ... 16:51
加茂山の家	9:39... (毎時39分) ... 16:39	加茂駅東口	10:06... (毎時06分) ... 17:06

《主要な区間運賃》
 加茂駅東口～岩船寺 300円
 加茂駅東口～浄瑠璃寺前 400円
 岩船寺～浄瑠璃寺前 200円

お得な1日フリー乗車券 1DAY TICKETをご利用ください!
 大人(中学生以上): 400円 小児(小学生): 200円
 販売所: 市役所・各支所・観光協会・公共施設など
 お問い合わせ: 木津川市学研企画課 ☎0774-72-0501(代)



※荒天時には一部の道路が通行止めになることがありますのでご注意ください。
 ※季節によっては道中の雑草が伸び、足元が悪くなる場合がありますのでご注意ください。



729年、聖武天皇が行基に命じて阿彌陀坐像を建立したと伝えられ、本尊阿彌陀如来坐像をはじめそれぞれの時代に造られた優れた重要文化財があります。初夏の新緑、秋の紅葉に三重塔がなじみ、境内一帯に植えられたあじさいも美しく「あじさい寺」として知られています。

【重要文化財】
 (本尊)阿彌陀如来坐像、普賢菩薩騎象像、石室不動明王立像、三重塔、十三重石塔、五輪塔

- ### 1 府指定有形文化財 森八幡宮

線刻不動明王・毘沙門天 [正中9(1326)]

当尾で一番古く格式のある神社で急な石段を登った岩山の上に祀られています。像高100cm。

森八幡宮
 拝殿右奥に、線影りの不動明王と毘沙門天の二体の石仏が安置されています。
- ### 2 六体地藏 (岩船墓地六体地藏石龕仏)

【南北朝】

高さ112cm、像高44cm。

死者の霊が六道(地獄、餓鬼、畜生、修羅、人、天)に迷い苦しまないように、それぞれの地蔵菩薩が救いの手をさしのべてくれています。1つの石龕に六体揃って彫られている珍しい地蔵です。
- ### 3 三体地藏磨崖仏

【鎌倉末期】

ミロクの辻から岩船寺への旧道の途中、見上げる様な所にかわいい三体のお地蔵さんが彫られています。像高90cm。

旧道沿いの岩削に、長方形の龕を彫りくぼめ、三体の地蔵菩薩が厚肉彫りされています。三体とも左手に宝珠、右手に錘杖を持っています。過去、現在、未来をそれぞれ割り当てたもので、六体地蔵信仰以前の地蔵信仰の形態といわれています。
- ### 4 ミロクの辻 (弥勒仏線影磨崖仏)

【文永11(1274)】

★府指定有形文化財

昔から大道が交わる道の辻で、旅人が健脚を祈ったところといわれています。像高170cm。

山際の巨岩に仏さまが線彫りされています。これは笠置寺本尊の弥勒磨崖仏(現在は焼失し、光背が残るのみ)をかなり忠実に模写したもので伊末行の作です。
- ### 5 一願不動 (不動明王立像)

【弘安10(1287)】

★府指定有形文化財

岩船寺奥の院の修行場の大きな岩に彫られた童顔キョロ目の姿が特徴のあるお不動さん。像高121cm。

ただ一つだけ一心にお願いすれば、叶えてくださるという一願不動さん。右手には剣を持ち、怒った顔をしています。(母親が子どもを叱るように、愚かな人間を叱っているそうです。)
- ### 6 わらい仏 (岩船阿彌陀三尊磨崖仏)

【永仁7(1299)】

★府指定有形文化財

当尾の代表的な石仏の一つです。蓮台を持つ観音菩薩と合掌する勢至菩薩を従えた阿彌陀仏です。永仁7年(1299)の銘文があり、上部の屋根石が崩れているので、風蝕の影響も少なく保存状況は良好です。特に夕陽の中にあたり、やさしい微笑みをたたえた姿は微笑ましいものがあります。伊末行の作。中尊像高79cm。

わらい仏の傍らにある、土の中に半分埋もれている「ねむり仏」もお見逃しなく!
- ### 7 カラスの壺二尊 (阿彌陀地藏磨崖仏)

【康永2(1343)】

道が交差する分岐点で「からすのつぼ」と呼ばれている場所。舟石のコーナーに彫られたお地蔵さんと阿彌陀さん。

一つの岩に阿彌陀如来坐像と、面を変えて地藏菩薩立像が彫られています。阿彌陀仏の線影灯籠は火袋を彫り込み、そこへ燈明が供えられます。
- ### 8 あたご灯籠

【江戸】

細長い自然石を使用した灯籠です。バス停の光にひよると建立されています。高さ170cm。
- ### 9 藪の中三尊磨崖仏

【弘長2(1262)】

東小集落中程の藪中にあります。随願寺の塔頭があった場所といわれています。像高、右から111cm、153cm、91cm。
- ### 10 大門石仏群

【室町~】

竹藪の中や細い山道にあった石仏、山塔などを集めて安置しなおしたもので、双体仏や石龕仏、六字名号板碑や五輪板碑などがあり、変化に富んでいます。
- ### 11 大門仏谷 (如来形磨崖仏)

当尾の石仏群中、最大の磨崖仏です。幅約6mの花崗岩に2.8mの如来坐像が高肉彫りされています。

像名に関して、阿彌陀如来、弥勒如来、釈迦如来などの諸説があり、まだ確定はしていません。製作時期に関しては不明です。かつては奥まで行ける道がありました。現在は谷を隔てた道が拝所となります。
- ### 12 西小墓地石仏群

西小五輪塔【鎌倉】

★重要文化財

東塔243cm、西塔225cm。

埋没や盗難などを防ぐため、かつては周辺に散在していた無縁墓や石仏が集められています。

西小墓地入口の二基で、当初はこの墓地の総供養塔として造立されました。向かって左側の反花座は、側面を三区に分けた格狭間(こうざま)と呼ばれる装飾が入り、右側は反花座のみとなっています。宇宙根本の思想、この世を構成している地・水・火・風・空を表したものとされています。仏教のいう五大要素でもあります。
- ### 13 長尾阿彌陀磨崖仏

【徳治2(1307)】

像高76cm。

美しい蓮弁の台座に座り、両手を腹部の前で上品上生の定印を結んだ阿彌陀坐像です。1307年(徳治2年)からここで人々の往来を見守ってきました。

※荒天時には一部の道路が通行止めになることがありますのでご注意ください。
 ※季節によっては道中の雑草が伸び、足元が悪くなる場合がありますのでご注意ください。